

令和4年6月2日

地域貢献計画書



氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名  
イオンリテール株式会社  
代表取締役 井出武美  
住所  
千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1  
地域貢献担当窓口  
開発本部 南関東開発部

店舗名称 （仮称）イオンスタイル天王町

店舗所在地 横浜市保土ヶ谷区川辺町3番5ほか

【地域貢献に対する方針】

イオンの基本理念は、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」ことです。

地域社会そして国際社会の一員として、イオンは社会貢献活動に取り組んでいます。

【地域貢献の取組内容】

取組分野	項目	具体的内容
総合的な取り組み	包括連携協定の締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市とイオン株式会社は、平成 24 年 5 月 9 日（水）、環境保全、子育て支援、健康づくりなど 10 分野において、相互の連携を強化し、横浜における市民サービスの向上と地域の一層の活性化に資する『包括連携協定』を締結しました。今後、本協定をベースとして、それぞれの強みを活かしながら、地域活性化に資する取組の検討を進めていきます。</li> <li>（1）ヨコハマみらいWAONカードの活用に関する こと</li> <li>（2）環境保全・環境活動の支援に関する こと</li> <li>（3）子育て支援に関する こと</li> <li>（4）健康づくり・食育に関する こと</li> <li>（5）高齢者・障害者支援に関する こと</li> <li>（6）観光振興・スポーツ振興に関する こと</li> <li>（7）くらしの安心・安全に関する こと</li> <li>（8）青少年の健全育成に関する こと</li> <li>（9）災害対策に関する こと</li> <li>（10）その他市民サービスの向上や地域の活性化に 資すること</li> </ul>
地域まちづくり・地域福祉	地域のまちづくりに取り組む 団体への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月 11 日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函 BOX をお店に置いています。この日は、お客さまがレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体の投函 BOX へ入れていただくと、お買い上げ金額合計の 1% が地域ボランティア団体などに希望する品物で寄贈されます。</li> <li>・サポートを必要としているボランティア団体と、「応援したい」という気持ちをお持ちのお客さまを結ぶ取組、それが「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」です。地域のコミュニティの一員として、イオンはこの取り組みの輪をさらに広げていきます。</li> </ul>
	地域のまちづくりに取り組む 団体への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨコハマみらい WAON カードの利用金額の 0.1% は、横浜市の「横浜市環境保全基金」に寄附され、環境活動団体に対する表彰制度や助成制度など、地域に根ざした環境保全活動に活用されます。（全国どこで利用しても、利用金額の一部は横浜市へ寄附されます）</li> </ul>
	商店街連合会への賛助会員としての加入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街連合会への賛助会員としての加入は、連合会様と協議の上、検討させていただきます。</li> </ul>
	地域雇用確保への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の地域からの優先的採用を行っています。</li> </ul>
	就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援が必要な地域の方々の受け入れ、中間的就労の場の提供については、関係各位と協議後、該当の方と面談をさせていただきます。面談の上、雇用について検討させていただきます。</li> <li>・「横浜市職場実習事業」の協力事業所としての登録及び障害者の就労支援につながる取組については、協議の上、検討させていただきます。</li> </ul>
	地域活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園愛護会の活動への支援、清掃活動等への参加については、協議の上、検討させていただきます。</li> </ul>

取組分野	項目	具体的内容
環境	地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店舗利用者や近隣住民が電気自動車やプラグインハイブリッド車に乗りやすい環境となるよう、駐車場内に充電設備を設置した駐車枠を設ける計画です。</li> <li>・ 店舗で使用する電気については、再生可能エネルギー等を使用した低炭素な電気の選択を検討します。</li> <li>・ 「カーボンフットプリント (CFR)」とは商品の原材料から、加工段階、流通、消費、廃棄、リサイクルまで、商品の全ライフサイクルを通じて発生する CO2 排出量を商品に表示して”見える化”することです。イオンは、2009年6月から経済産業省が開始した「カーボンフットプリント制度試行事業」に参加しており、商品の試験販売や商品の種別算定基準 (PCR) 作成などに取り組んでいます。</li> </ul>
	生物多様性に関する取り組み 「MSC認証」「ASC認証」 「FSC認証」商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イオンは、生物資源の持続可能性に配慮した商品を積極的に取り扱っています。海の恵みを受け続けるために適切に管理された持続可能な漁業を認証するのが”海のエコラベル”と呼ばれる「MSC(海洋管理協議会)認証」です。責任のある養殖により生産された水産物であることを認証するのが、「ASC(水産養殖管理協議会)認証」です。また、適切に管理された持続可能な森の木であることを認証するのが「FSC®(森林管理協議会)認証」です。</li> </ul>
	資源循環に関する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球の資源には限りがあります。資源を使って新しいものをどんどん作っては捨てていると、資源が足りなくなるだけでなく、ゴミ問題や公害問題などさまざまな環境問題を引き起こします。そこでイオンではゴミを少しでも減らすため、3つのRでゴミ削減に取り組んでいます。 Reduce：ゴミになるものをできるだけ持ち込まない Reuse：できるだけ何度も使う Recycle：使えなくなったものは捨てずに再資源化や熱化して再生利用する</li> </ul>
	資源循環に関する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店頭リサイクル回収を行っています。貴重な資源を捨てずに再資源化するために、イオンの店頭では紙パック、食品トレイ、アルミ缶、ペットボトルの回収BOXを設置しています。回収したアルミ缶や紙パックは「トップバリュ」の原料の一部に使用し再商品化するなど、循環型社会の構築に向けた取り組みを積極的に続けています。</li> </ul>
	資源循環に関する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イオンでは、1991年よりお客さまとともに、積極的に「買物袋持参運動」を展開しています。この取り組みは、お客さまにマイバスケットやマイバッグを持参いただき、レジ袋の使用量を削減することで、地球温暖化の原因となるCO2排出を抑えるとともに、ゴミの削減や原料の石油の節約をめざすものです。2020年度は約29億4,038万枚のレジ袋を削減、レジ袋辞退率は8割を超えました。これからもレジ袋の削減へ向けて取り組みを積極的に推進します。</li> </ul>

取組分野	項目	具体的内容
環境	静かな住環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静かな住環境の保全のために、設備機器からの騒音の低減、駐車場を走行する車両からの騒音の低減、荷さばき作業及び車両からの騒音の低減を図ります。</li> </ul>
	浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水の利活用などについて検討します。</li> </ul>
	その他環境対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1991年4月29日の「緑の日」から、イオンは「クリーン&amp;グリーン」キャンペーンを展開しました。このキャンペーンは、グループ企業の社会貢献活動を社員のボランティア活動に発展させたものです。クリーン活動とは、単なる清掃活動ではなく「心のクリーン」すなわち自ら進んで行う社会奉仕活動と意義づけています。また、グリーン活動は植樹活動を含め、自然環境の保全といった幅広いとらえ方をしております。</li> </ul>